

第1回生活習慣病検診管理指導協議会肺がん、登録評価部会 会議録

(令和3年3月31日掲載)

1 日 時 令和3年3月22日(月)から令和3年3月29日(月)

2 場 所 書面開催

3 出席者(敬称略)

(委員) 山縣然太郎 溝部政史 近藤哲夫 齊藤美穂 櫻井希彦

(事務局) 健康増進課長 総括課長補佐 がん対策推進担当

4 議事の概要

(1) 肺がん検診の実施状況について

委員：精検対象者が多いが精検受診率が減少している市町村について要因を調査する必要がある。

委員：肺がん検診の検診機関チェックリストについて、喀痰細胞診の精度管理項目を全て満たしていない施設があるが、精度管理が行われていない検査は許容できず、調査する必要がある。

委員：検診機関チェックリストについて未回答の施設が多いため、要因を調査する必要がある。

委員：精検受診率がわずかでも増加していることは良いこと。精検受診率90%の目標達成にむけて、更に対策が必要。

委員：がん発見と過去の検診受診回数との関連性を分析する必要がある。

委員：肺がん検診の精検受診率向上のため、子宮頸がん検診と同様に、精検結果を共有する仕組みをつくる必要がある。

- 委員：制度的な問題でもあるが、職域検診等が算入されていないことにより実態がつかみにくい。

(2) 山梨県のがん登録情報について

委員：本県では、肺がん検診で発見された肺がんの率が全国より高く、限局が多いといえる。

委員：全国に比べて検診での発見が多く限局が多いことが本県の良い点として評価できる。

委員：がん登録の活用に向け、市町村では検診の精度管理を行い、質の高い検診を実施することが求められる。

(3) その他

特に意見なし

以上